

第2回 鵠川流域委員会 議事要旨

日時：平成20年9月22日(月) 13:00～16:00

場所：むかわ町産業会館 2F 第3会議室

出席者：藤間委員長、新谷委員、黒木委員、小坂委員、長澤委員、松澤委員

議事要旨

1. 委員の紹介

今回新たにご参加いただく松澤委員の紹介。

2. (1) 今後の鵠川流域委員会の流れについて

- ・ 事務局より、「鵠川水系河川整備計画策定の流れ」について説明。
- ・ 委員の主な意見は特になし。

3. (2) 流域及び河川の概要(第1回流域委員会の補足説明)について

- ・ 事務局より、「流域及び河川の概要(第1回流域委員会の補足説明)」について説明。
- ・ 委員の主な質問および意見は以下のとおり。

1) 主な質問

- ・ 鵠川上流域は、平成18年洪水時に道道の通行止めにより孤立しているが、その通行止め時間と住民への影響はどの程度であったのか。
- ・ 内水氾濫の多く発生した地区と浸水想定区域図とを見ると、浸水頻度が多いだけでなく浸水深も深く危険な箇所が判るが、そこから整備を進めているのか。

2) 主な意見

- ・ 河川整備基本方針で想定している最終形の河道断面にするには、現在利用されている高水敷を掘削することになり、社会的影響も考えられるので、河道掘削線を平面図で表してほしい。
- ・ 鵠川の河川整備計画を考える上で、シシャモの保全是重要であるため、掘削に当たっては、水深や流速などと産卵床との関係についても検討し、慎重に対応してほしい。
- ・ 河川整備計画の目標流量 3000m³/s は洪水対応としては理解するが、海域に影響を及ぼす泥流など、洪水に起因する別の要素の事象についても考えられないか。
- ・ 鵠川河川整備計画に基づくシシャモの生活環境の保全については、流域委員会の重要な位置を占めるため、シシャモに対する影響を話し合う場を設けることを委員会の要望として出したい。

4.(3) 河川整備計画(原案)について

- ・事務局より、「河川整備計画(原案)」について説明。
- ・委員の主な質問および意見は以下のとおり。

1) 主な質問

治水

- ・内水としては、釜場の整備やポンプ車などの対応となっているが、流域から釜場までの排水システム一体としての整備は考えられないのか。
- ・地震津波対策として、津波遡上の河川水位への影響については想定しているのか。

2) 主な意見

治水

- ・費用対効果について、次回詳細な説明をしてほしい。

利水・環境・維持管理

- ・費用対効果について、環境に対する便益はカウントしないのか。次回、費用対効果の考え方を示してほしい。
- ・河川の利用に関して、環境教育を継続して行う観点からも、河川に関わる指導者育成を充実してほしい。
- ・鵜川には、2箇所頭の頭首工に魚道が設置されているが、魚道の必要性を理解するためにも、その対象魚種を教えてください。
- ・サイクル型の維持管理については、次の計画に向けた現在の評価がネックとなると思うので、その評価について説明してほしい。
- ・地域と一体になった河川管理について、緊急時における実際の水防団や地域の水防活動についての説明を次回お願いしたい。
- ・産業的に重要な魚だけではなく、鵜川に生息する多様な魚種を視野に置いた検討をお願いしたい。
- ・洪水時の土砂収支に関して、次回説明してほしい。

5. 今後の予定

- ・次回委員会にて、今回の補足説明を踏まえ、鵜川水系河川整備計画(原案)について、委員会としての意見を取りまとめる。
- ・第3回目の流域委員会は、日程調整を踏まえて設定する。また、河川整備計画(原案)を9月29日から1か月程度、各役場や河川事務所、ホームページ等で広告縦覧し、広く地域住民の意見を聞くことを考えている。

以上